



製版インク (リトグラフ用)

せいはんいんく (りとぐらふよう)



概要

リトグラフ用の製版インク（製版墨）は、リトグラフでの製版の際に使用される顔料と亜麻仁油を原料としたインクです。

製版インクは、クレヨンや解墨で描画した部分の親油性を強めるとともに、描画部分を製版液やエッチ液などの酸から守る働きをします。また、版を保存する場合は、プリントインクを製版インクに置き換えることで、描画部分を乾燥しにくくします。

成分はカーボンブラック、亜麻仁油、乾燥抑制剤から出来ており、印刷インクよりも粒子が細かいために、版面にインクを盛った際には微妙な階調の変化を再現することができます。

製版インクを版に盛る場合は、インク台上に適量のインクを出し、ヘラでよく練った後、製版用の裏革ローラーに均一にインクを巻きつけて、版に水分を与えながらローラーを転がしてインクを盛ります。

製版インクは版画材料を扱っている画材店で購入することができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

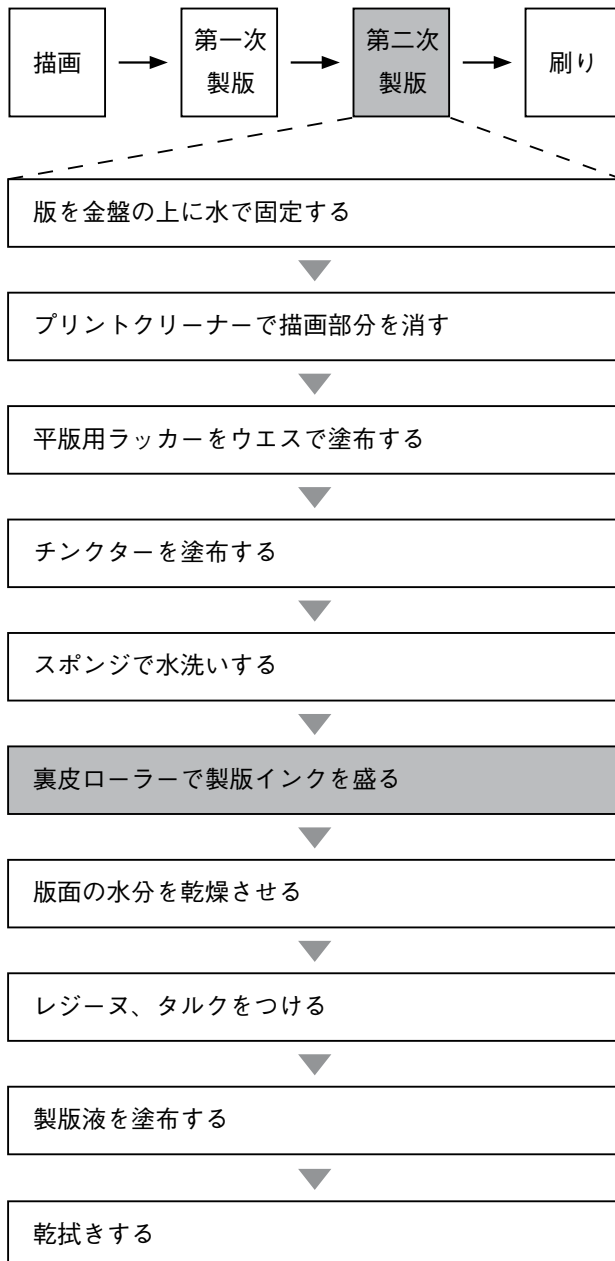
Y

Z

数字

リトグラフ（金属版の場合） 制作工程

※灰色の部分は、「製版インク」が使用される工程です



使用例 裏皮ローラーで製版インクを盛る



手順1. インク台上に製版インクをヘラで「一」の字状に均一にのばします。



手順2. インク上をローラーで何度も前後に転がすことで、ローラー全面にムラ無く均一に製版インクを付着させます。



手順3. 金属版（アルミ版）の版面を隅々までローラーを転がしてムラなくインクを盛っていきます。このとき、製版インクは描画部分にのみ盛られ、画線が再現されます。また、製版インクのつき具合が印刷時にも影響するため、よく調子を整えます。